

「親の力」をまなびあう学習プログラム  
を持続可能な取組としていくために  
～ファシリテーターの果たす役割を中心に～

ぽれっとひろしま

広島県立生涯学習センター

振興課 主任 松田 愛子



## はじめに

### はじめに

家庭環境の多様化・地域社会の変化



「家庭教育」が困難な社会

★広島県教育委員会では、  
「家庭教育支援」のツールとして  
「親の力」をまなびあう学習プログラム  
(通称「親プロ」)を開発・普及



### 研究のねらい

- 「親プロ」発展・普及の鍵を握る「親プロ」ファシリテーターの果たす役割を中心に、取組の現状を整理する。
- 「親プロ」を持続可能な取組としていくための方策と今後の展望を考察する。

### 主な発表内容

- 1 家庭教育支援の動き
- 2 「親プロ」の概要と事業経過
- 3 「親プロ」ファシリテーターの概要
- 4 持続可能な取組のためのシステムづくりに向けて
- 5 展望（10年後の目指される姿）

## 1

## 家庭教育支援の動き

## 家庭教育支援の動き①

親の親としての“育ち”を支援する  
「親学習プログラム」が注目  
先行的に主に欧米を中心に  
開発・実施

日本向けにアレンジされて導入

- 【例】 Nobody's Perfectプログラム  
(完璧な親なんていない)【カナダ】  
Positive Parenting Program (トリプルP)  
【オーストラリア】

## 家庭教育支援の動き②

### 自治体による 「親学習プログラム」の開発

- 【例】 栃木県：親学習プログラム  
富山県：親を学び伝える学習プログラム  
山梨県：やまなし「親」学習プログラム  
滋賀県：語り合いを通じた親育ち  
大阪府：「親」をまなぶ、「親」をつたえる  
兵庫県：ひょうご親学習プログラム  
「ゆっくりゆったり親育ち」  
和歌山県：本音でトーク！  
鳥取県：親学プログラム

## 2

### 「親プロ」の 概要と事業経過

### (1) 平成18～19年度を取組

- 文部科学省委託事業  
「家庭教育支援総合推進事業」
- 「親の教育力を高めるプログラム  
開発検討委員会」の設置  
【検討委員】  
学識経験者、行政関係者、社会教育関係者、  
PTA関係者 など
- 「親の力」をまなびあう  
学習プログラムの開発

「親の力」をまなびあう学習プログラムの開発

このプログラムでいう「親の力」とは・・・

### 2つの子育て力が一体となった力

子育て力Ⅰ  
子どもに対して  
第一義的責任を  
果たす力

子育て力Ⅱ  
社会の一員として  
子どもを育成する力

＝ 人を育てようとする人なら誰もが持っているであろう“親心”から発せられる力

「親の力」をまなびあう学習プログラムの開発

### 子育て段階に応じたプログラム

- 身近なエピソードをもとにした内容  
【対象】 中学・高校生などの青少年、まもなく親になる人  
0歳児～小学校3年生の親  
小学校4～6年生・中学・高校生の親  
中高年などの子育て支援者

- 学習のすすめ方
- ワークシート（教材）





### (2) 平成20～22年度の取組

- 単県事業 「家庭教育応援プロジェクト事業」
  - (出前) 講座の実施
    - ・幼稚園、保育所、小学校、中学校の保護者懇談会・PTA研修会
    - ・子育て支援センター、公民館の家庭教育講座
    - ・子育てサークル・サロン など
  - ファシリテーター養成講座の開催
  - 市町単位のファシリテーター交流会の開催 など

出前講座(保育園)

養成講座(修了証渡し)

### 事業の経過(平成20～22年度)

- 講座数の目標値

- 実績

項目	20年度	21年度	22年度	計	
講座数	県支援	102件	27件	17件	146件
	ファシリテーター	6件	130件	117件	253件
	計	108件	157件	134件	399件
参加者数	2,730人	3,026人	2,943人	8,699人	
参加者数	県	67人	61人	40人	168人
	市町	6人	58人	61人	125人
	計	73人	119人	101人	293人

### 講座参加者の声

#### 子育て等に関する不安や悩みの変化

■ 大いに軽減 ■ 軽減 ■ 増えた ■ 大いに増えた ■ 変化なし

⇒ 7割を超える参加者が子育ての不安が軽くなったと感じている。

### (3) 平成23～25年度の取組

- 単県事業 「家庭教育支援事業」  
市町における取組への「支援」にシフト
- ファシリテーター「ステップアップ」研修
- 市町が主催するファシリテーター養成講座への支援
- 新たな「場」の開拓
- 現代的課題に対応した新規開発教材の開発  
(携帯電話、父親の子育て、ワークライフバランスなど)

ステップアップ研修

小学校の入学説明会で(新たな場の開拓)

### 事業の経過(平成23～25年度)

- 参加者数の目標値

- 実績

項目	23年度	24年度(予定含む)	25年度	20～24年度計
講座数	県支援	16件	35件	197件
	ファシリテーター	160件	193件	806件
	計	176件	228件	803件
参加者数	4,235人	5,084人		18,018人
参加者数	県	—	—	168人
	市町	74人	135人	334人
	計	74人	135人	502人

# 3

## 「親プロ」 ファシリテーター の概要

### (1) ファシリテーターの属性

#### ●「親プロ」ファシリテーター養成講座修了者の職種等



その他  
NPO等の子育て支援団体職員、  
児童・民生委員、主任児童委員、  
母子保健推進員、学校関係者OB、  
警備職員、警察職員や保育士等  
をめざす大学生、主婦 等

【参考】平成22年度「第1回学習プログラム検討委員会」会議資料

➡ さらに地域の多様な人材を巻き込みながら、  
地域に根付いた「地域の住民力」を活かした活動へ

### (2) ファシリテーターの果たす役割

#### ●ファシリテーターとは？

人々の活動が容易にできるように支援し、  
うまくことが運ぶように舵取りをする役割を持つ人

ファシリテーション (Facilitation) Facillはラテン語でeasyを意味する  
「ことを容易にする、楽にする、促進する」という英語の原意

#### ●「(親プロ)学習のすすめ方」の視点

- ①学習者の「自ら気づきまなぶ力」を引き出しましょう
- ②語り上手ではなく、聞き上手になりましょう
- ③力の均衡(パワーバランス)を大切にしましょう
- ④コーディネーターでもあります
- ⑤深刻な問題は関係機関を紹介しましょう
- ⑥いろいろな人の存在を意識しましょう。

### 「親プロ」ファシリテーターへの期待①

- 草の根活動を広げ
- 地域の教育力を高める
- 地域の「キーパーソン」として  
(重要な人)



小学校の地域公開参観・教育講演会にて

「親プロ」ファシリテーター  
≡ 専門家 (スペシャリスト)

地域で温かく子育て家庭を見守る  
「おとな」(近所のおじさん・おばさん)たちの応援  
➡ 地域全体の教育力向上へ

### 「親プロ」ファシリテーターへの期待②

- 多様な「親の力」を結び付ける
- 「コーディネーター」として

地域の中に、  
お互いに信頼し合えるネットワーク  
(仲間づくり)を形成

親自身が一歩踏み出す「勇気」

つなご役・調整役 → 孤立化した家庭を開き、  
地域とのつながりを作る  
支える体制(仕組み)

人から元気をもら  
った。人に元氣  
をあげたり、支え  
あって育ちあうこ  
とが大人になっ  
ても大切。  
(ファシリテーターの胸)

### 「親プロ」ファシリテーターへの期待③

- 心に寄添い、共感をもって励ます
- 「メンター」として

子育てを支援する人からのプレッシャー

「支援する側の考えは一様ではありません。  
『親のわがままではないのか』  
『もっと母親がしっかりすればいいのに』  
という思いを持つ人も少なからずいます。  
出口のみえないトンネルをさまよう心境の  
母親に寄添って、ともに歩くような支援を」

善えを求めるの  
ではなく、親の気持  
ちを楽にできるま  
げの役割ができ  
れば。  
(ファシリテーターの胸)



子育てサポートステーションにて

聖泉女学園大学大学院 大日向雅美教授

# 4

## 持続可能な取組 のためのシステム づくりに向けて

### (1) 地方自治体と行政職員の果たす役割

地域の実情に応じた具体的な家庭教育支援の取組を各自治体が、それぞれの家庭教育支援に係る施策や教育計画のもと、責任をもって進めていくことが重要。



中学校の地区懇談会で

#### ●市町の役割

- 住民の最も身近な行政機関として
- 家庭や地域の具体的なニーズを的確に反映
- それに応じた家庭教育支援を日常的に実施
- 地域の様々な関係者・機関との取組をコーディネートする中心的な役割を担う

#### 【具体例】

- ・「親プロ」講座の企画・実施
- ・「親プロ」ファシリテーターの養成
- ・人材養成に必要な地域人材の発掘と活動のコーディネート  
(地域の多様な力の結集)
- ・地域の様々な関係者・機関との連携・調整
- ・ファシリテーターの組織化と運営のサポート
- ・調整や合意形成を図る場としての協議会や委員会等の組織化・運営等

#### ●県の役割

- 広域的な観点から
- 地域の家庭教育支援の取組を活性化するための仕組みを整備

#### 【具体例】

- ・現代的課題に対応したプログラムの開発や改善
- ・新たな「場」の開拓、新たな手法の開発
- ・取組事例の収集・検証→モデル的取組の普及啓発
- ・市町におけるファシリテーター養成への支援
- ・養成したファシリテーターの資質向上と  
県域のネットワークの構築促進
- ・その他、広域的な関係者のネットワーク構築促進
- ・市町や地域の様々な主体に対する情報提供、  
助言、その他必要な支援

### (2) ファシリテーターのネットワーク

ファシリテーターの悩みや疑問を  
乗り越えるための知恵や力



同じ仲間同士の学びあいと交流

「親プロ」活動の継続・充実

- ファシリテーター自身の  
学びと交流によるスキルアップ
- 仲間との信頼関係づくり が不可欠

#### ●市町域でのネットワーク

- 親プロ「講座」の打合せ（役割分担など）
- ファシリテーター仲間の情報交流
- 市町主催によるファシリテーターの  
「研修会」や「交流会」の開催
- ファシリテーターグループの結成
  - ・定例会の開催
  - ・「親プロ」講座の主催
  - ・広報宣伝などの積極的・主体的な活動 など

## 先進事例①

### 尾道市「すまいるばれっと」

- 活動の経緯
  - ・平成19～22年度 6名が「親プロ」ファシリテーター養成講座修了
  - ・平成20年度～ 尾道市の家庭教育講座等でファシリテーターを務める
  - ・平成22年9月 ファシリテーターグループ結成
  - ・平成23年4月 グループ名を尾道市家庭教育応援プロジェクトチーム「すまいる ばれっと」と命名し活動中。
- 活動内容
  - ・定期的な会議の開催
  - ・オリジナルワークシート（尾道プログラム）の作成
  - ・講座の展開案や役割分担についての打ち合わせ
  - ・広報用リーフレットの作成、広報活動
  - ・独自研修会「スキルアップ講座」など



定例会



「親プロ」講座（中学校）

## 先進事例②

### 世羅町「Pくらぶせら」

- 活動の経緯
  - ・平成22年度 町主催によるファシリテーター養成講座開催
  - ・平成22年度 県主催による養成講座修了者とともに（14名）ファシリテーターグループ「Pクラブ せら」を結成
  - Pとは... ベアレント、プログラム、パワー
- 活動内容
  - ・講座前の打合せ会議及び講座後の反省会の実施
  - ・チームでの「親プロ」講座の進行
  - ・「親プロ」講座主催「おとうさんの子育てトーク！」（後援：町教委）など



打合せ会議



中学校での講座



主催講座

（おとうさんの子育てトーク）

## ●県域でのネットワーク

### 県主催

ファシリテーターステップアップ研修  
での出会い・情報交流

市町域を超えた県域の

緩やかなネットワークの広がり

- 県内の先進地域のファシリテーターの集まりに  
他市町のファシリテーターが合流
- 互いの活動を見学・支援 など

市域を超えたファシリテーター同士の直接的な交流

## 「学びあい」と「支えあい」

広島県版 「メイン」ファシリテーター  
「親プロ」の特長 「サブ」ファシリテーター  
の役割分担

一人では困難でも、  
仲間とならやれる

若い「親」たちにとって  
人と人との信頼関係づくりのロールモデル  
「私もこうありたい」「こんな仲間を作りたい」

【モデルケース】安芸郡府中町の事例  
「得意なこと」を持ち寄って



「子育て支援センター」等の職員（「親プロ」ファシリテーター）が、講座中の「託児」を担当

# 5

## 展望

### 10年後の 目指される姿として

## (1) 「支援される側」から「支援する側」へ

子育て支援の“受身”としての「親」

### エンパワメント



子育てを“支援”する次世代の「力」

- 親が自ら“主体的に課題解決”を  
していくことできる学びの機会の確保

- “学びと支援が好循環する”

仕組みの構築

## 「してあげる支援」から「力を引き出す支援」へ

“してあげる”支援

親が親自身の力で育っていくための  
“力を引き出す”支援

学びと支援の好循環

【モデルケース】東広島市の事例

小学校内に併設されている  
公民館施設の**社会教育指導員**が、  
「**支援者**」となり、  
“参加者”だった **保護者の有志グループ**が  
「親プロ」ファシリテーター活動を開始



東広島市  
三ツ城コミュニティハウス

## 次世代の支援者へ“知恵”をつなぐ

ファシリテーターの養成を

“先輩”ファシリテーターが  
「支援」

〇〇さんを目指し  
てがんばります！  
(養成講座終了直前)

いろいろな人との  
出会いがあり、気  
づきや動かしも与  
えられました。  
(養成講座終了直後)

実践から生み出された  
ファシリテーターの  
“知恵”を  
次世代の支援者へつなぐ



ファシリテーター養成講座 (呉市)

## (2) 「親プロ」の限界を越えて

「親プロ」ファシリテーターの声

届けたい人に、届けられない

本当に困っている親は  
学びの場に出でこない

「**学習機会の提供**」を基本とする  
「親プロ」の活動

「**本当に困難な家庭には届かない**」  
という“**限界**”

## つながりにくい家庭に支援をつなげる

「広く全国の市町村で**専門家がチームを構成して支援する**  
など、**身近な地域におけるきめ細かな家庭教育支援の取組**  
が実施されるよう促す」

教育振興基本計画(平成20年7月閣議決定)

「家庭教育を行うことが困難になっている孤立しがちな家  
庭や親へ支援を**届ける取組(アウトリーチ)**を推進して  
いくことが課題です」「**(支援のネットワークを広げ  
る)**家庭教育の支援の取組を、学校や地域における、  
NPO 等による**様々な教育支援活動の取組と連携**しながら  
進めていくとともに、**教育分野の取組と保健福祉分野の  
取組の連携・協力**を図る仕組みづくりが重要です。」

「家庭教育支援の推進に関する検討委員会報告書  
『つながりが創る豊かな家庭教育』(平成24年3月)

## 広島県内の事例

### ● 向東地区家庭教育支援チーム 「親ちから」(尾道市)

地域の様々な関係機関と連携力しながら、  
家庭教育に関する情報提供や、  
家庭教育講座の企画運営等を行う。

### ● 県教育委員会「学力向上総合対策事業」 家庭教育支援アドバイザーの配置

家庭の学習環境に課題のある児童生徒の  
学力向上を図るため、保護者に直接ある  
いは関係機関を通じて働きかけを行う。

## ネットワーク型行政の推進

「今後、社会教育行政は、**地域住民同士が学びあい、教え  
あう相互学習等が活発に行われるよう環境を醸成する役割**  
を一層果たしていくことが必要(中略)このため、今こそ、  
従来の『**自前主義**』から**脱却し**、社会教育施設間の連携の  
強化のみならず、**首長部局・大学等・民間団体等と連携**し  
て、**地域住民も一体となって協働**して、『**ひらく・つなが  
る・むすぶ**』といった機能を様々な領域で発揮する、『**社  
会教育行政の再構築**』(ネットワーク型行政の推進)を  
実施していくことが必要」

「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」(平成25年1月)

他主体との連携・協働が「鍵」

### 様々な主体との連携・協働

- 「親プロ」の“限界”と  
“ポジショニング”を明らかにする  
(全てを抱え込まない)

### 様々な主体と連携・協働

縦軸 (誕生から自立までの全ての発達段階において)

横軸 (多様化するすべての子育て家庭において)

切れ目のない支援へ

### (3) 持続可能な社会の実現に向けて

- ファシリテーターのネットワークグループが
- 様々な主体とつながりながら 「親プロ」の枠組みを  
超えて
- 地域の家庭教育支援を担う  
NPO団体等として自立・成長

### 連携・協働のネットワーク

「ソーシャル・キャピタル」の創出  
(社会関係資本)

- 住民と行政との協働による
- 「親プロ」を核とした新しい家庭教育支援の  
仕組みの構築

「安心して楽しみ喜びを感じながら育てられる社会」  
= 「次世代を育成する持続可能な社会」を実現

### 参考資料

- ①家庭教育支援の推進に関する検討委員会「つながりが創る豊かな家庭教育～親子が元気になる家庭教育支援を目指して～」2012年3月
- ②堀公俊, 加留部貴行「教育研修ファシリテーター」2010年10月
- ③中野民夫ほか「ファンリテーション 実践から学ぶスキルとこころ」2009年4月
- ④ (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部共生社会づくり政策研究群「親学ひ応援施策のあり方報告書」2010年3月
- ⑤「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」2013年1月
- ⑥大日向雅美監修「子どもを愛せなくなる母親の心がわかる本」2007年
- ⑦研究代表者 和歌山大学地域連携・生涯学習センター・准教授・村田和子ほか「地域の子育て支援力の形成と強化に関する検討」
- ⑧財団法人 日本システム開発研究所「平成20年度 家庭教育の活性化支援等に関する特別調査研究 報告書」2009年3月